

子ども読書支援センターは、子どもの読書に関わる大人の方々をサポートする山梨県立図書館の機能です。当センターの事業や活動内容についてご紹介します。



年代別おすすめブックリスト「いいね！の本棚 ～中学生編～」を発行しました！

山梨県子ども読書支援センターでは、各年代に推薦する本を紹介するブックリストを作成しています。

今年の3月には、「いいね！の本棚 ～中学生編～」を発行しました。小学生に比べ、中学生は読書冊数が大幅に少なく、また、1か月に本を1冊も読まない不読者の割合も大きいという現状※です。（※「第67回学校読書調査」2022年）。読書から離れてしまっている中学生にも、本に興味を持ってもらえるよう、ブックリスト作成の際には、小学校編とは異なる工夫をしました。



○ ジャンル分け

物語とノンフィクションを特に区別せず、同じテーマを扱う本は同じジャンルとしてまとめました。関心のあるテーマの本を探しやすくなっています。

○ ジャンル名

各ジャンルをできるだけ身近に感じてもらえるように、中学生に寄り添った表現を考えました。例えば、科学をテーマにした本のジャンル名は“世界の不思議に迫る ～科学の本棚～”、仕事をテーマにした本のジャンル名は“未来に向かって ～進路・将来・仕事の本棚～”としています。

○ ハッシュタグ (#)

本1冊につき、複数のハッシュタグを記載しました。本に関連するキーワードやフレーズにハッシュ記号 (#) をつけたもので、当館作成のブックリストにおいては新しい試みです。例えば、辻村深月著『かがみの孤城』には、「#山梨県出身作家 #いじめ #つながり #異世界」というハッシュタグを記載しています。ハッシュタグはSNSでよく使用されているので、中学生にはなじみ深いのではないかと考えています。

ブックリスト「いいね！の本棚 ～中学生編～」は、県立図書館内で配布しています。ホームページからもダウンロードでき、学校でのプリントアウト・コピー・無料配布も可能です。

小学校1・2年生編、3・4年生編、5・6年生編も引き続き配布しています。ぜひご活用ください。

■ 発行物



＞ 山梨県子ども読書支援センター ＞ 発行物

URL : https://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/shien_hakkou.html

中学生向けのブックトークシナリオ「食べ物」を追加しました！

ブックトークとは、あるテーマに沿って何冊かの本を順に紹介し、子どもたちに紹介した本や読書への興味を持たせる方法・技術です。山梨県子ども読書支援センターでは、小学生、中学生、高校生向けにブックトークシナリオを作成し、ホームページで公開しています。シナリオには、紹介する本の順序やページ、動作（図を指さす、読み聞かせするなど）や内容が記載されています。

今回、中学生向けに作成したシナリオのテーマは「食べ物」です。食料不足や地球温暖化を解決する助けとなる「昆虫食」の本『めっちゃうま!?昆虫食事典』（内山昭一／監修 大泉書店 2022）や、伝統的な醤油製造法に欠かせない木桶作りへの挑戦を描く『巨大おけを絶やすな!』（竹内早希子／著 岩波書店 2023）、ベーカリーカフェを開いた料理好きの男の子が登場する『ごはん食べにおいでよ』（小手鞠るい／作 講談社 2022）など4冊の本を紹介しています。

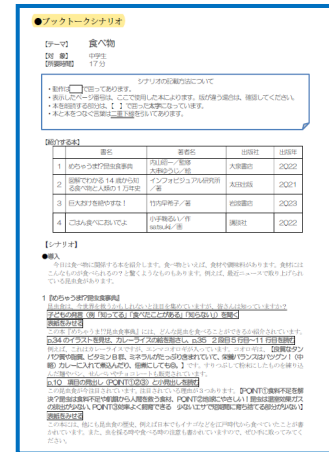
学校の図書の時間や、SDGs や食に関する授業、食育の取組などにご活用ください。

■ 読書推進プログラム



＞ 山梨県子ども読書支援センター ＞ 読書推進プログラム

URL : https://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/program.html



◆ シナリオ「食べ物」 ◆

第2回 子どもの読書オープンカレッジを開催しました。

「子どもの読書オープンカレッジ」は、山梨大学附属図書館子ども図書室との共催で、年5回開催している初心者向けの講座です。第2回は、7月12日（水）に「おはなし会に役立つ小さな人形」と題して、高田ちとせ氏を講師に迎え実施しました。小学校の学校司書、図書館職員その他、保育士、ボランティアの方など27名の参加がありました。



◆ 高田ちとせ氏 ◆

初めに、手ぶくろの指の部分で小鳥の人形「ことりん」を2羽制作しました。次に「ことりのうた」を歌いながら人形を動かす方法や、絵本の読み聞かせの導入に使う方法など、演じ方を学びました。最後にグループ別に実践発表し、講師からアドバイスをいただきました。

参加者からは、「かわいい小鳥の作り方と、その演じ方を詳しく教えてもらえて、とても勉強になりました。」「おはなし会の導入に使いたい手袋人形はずっと講座を待っていたのでうれしかったです。」などの感想が寄せられました。



◆ 人形の演じ方を学ぶ受講生の様子 ◆